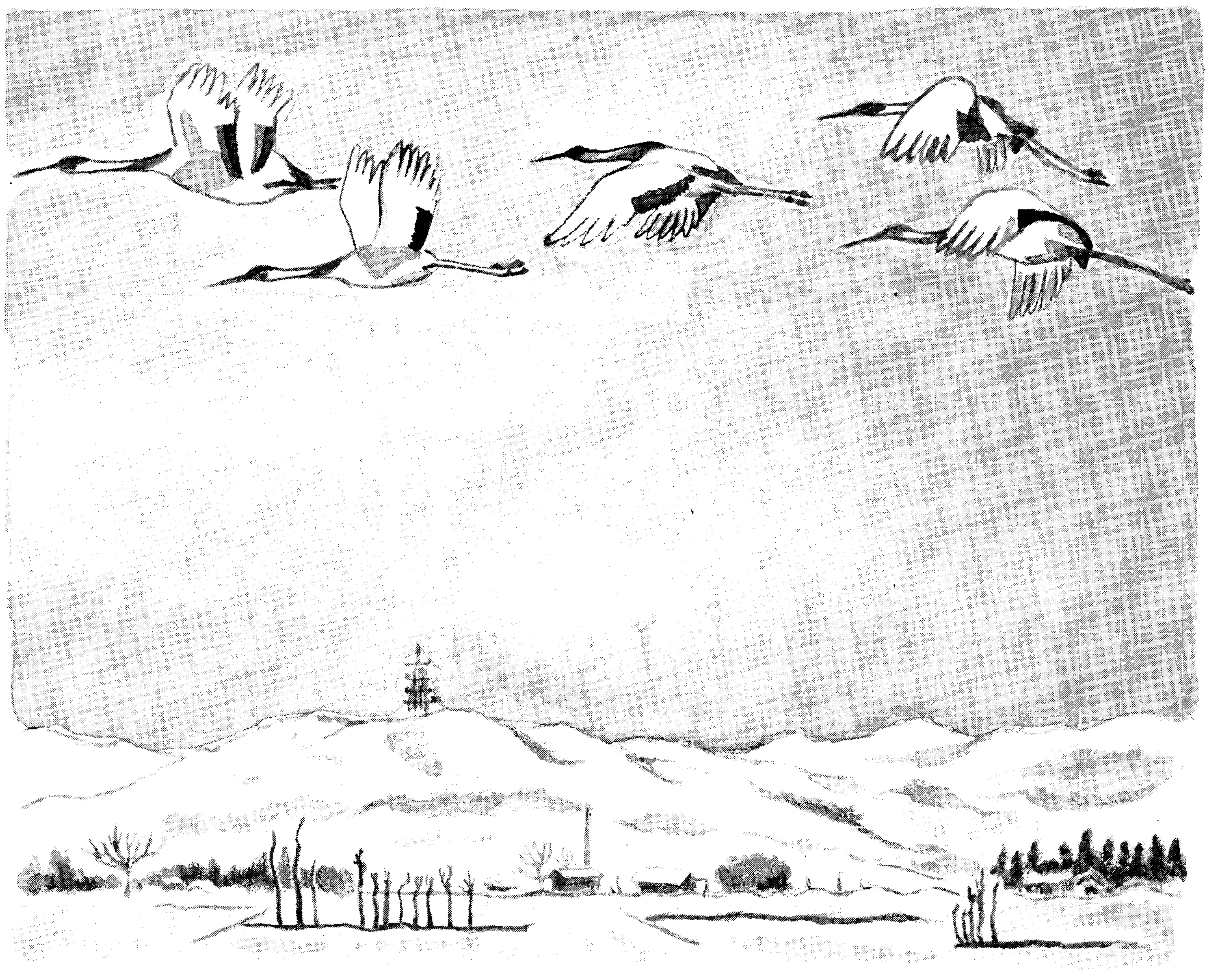


こすど公民館報

発行所　小須戸町公民館
発行人　間野良知
発行日　毎月１５日
一部１５円
印刷所　昭栄堂印刷所

親子工作教室のご案内

今回は竹を使っての工作教室です。花器や貯金箱など楽しいものを作りましょう。
日　時＝一月二十八日（日）午後一時三十分より
会　場＝中央公民館二階学習室
定　員＝五十名（定員になり次第〆切ります）
参加費＝一〇〇円（親子で参加しても一〇〇円）
その他＝道具はいっさいいりません。

更に伸ばそう　わが郷土

中央公民館長　間野良知

全町の皆さん新年おめでとうございます。

第七回を迎えた恒例の元旦マラソンによって、郷土小須戸は新しい年の始動を開始いたしました。老若男女二百余名の参加者が一人の落伍者もなく完走した姿は、たくましく伸びようとする郷土の姿そのもののような感がして本当に心強く思ったのであります。

昨年は何か不況ムードに明け暮れした一年でありましたが、その中に待望の県立高校設置決定という朗報が私達を歓喜させました。又青少年健全育成の殿堂として新しい武道館も竣工を見ました。これは偏えに五十嵐町長をはじめ町議会、直接関係者各位の御熱意と努力更に全町民の一貫した支持によるものでありまして、深く敬意と謝意を表する次第であります。

社会教育は行政と表裏一体になった町づくり運動であります。明かるく豊かなそして美しい町を生むための町民づくり活動であります。生涯教育という語の所以もそこにあるのであります。

町当局が多額の費用を投入して次から次へと関連施設を建設されるのもその重要性に立脚されているのであります。

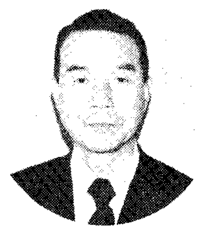
幸い町には青連協、婦人会、PTA、体育協会文化協会、長寿大学、青年学級、スポーツ少年団民踊連盟その他の有力にして熱心な社会教育団体があり、それぞれの立場で施設を活用しながら成果をあげております。又全町的行事等には率先参加してその実をあげ、ボランテイア活動にも惜しみない力を注いでくれられます。

新しい昭和五十四年もこうした諸団体が一段の活躍を展開されるよう、更に全町民皆さんがこの上ともご理解ご支援を賜りますよう心よりお願いするものであります。

町動き初めぬ元旦マラソンに　良遊

新年のごあいさつ

教育長　今井一夫



明けましておめでとうございます

雪なしの正月を迎え、晴れ上った青空を見あげていますと、何やら明かるい今年の先ゆきを思わせるものがあります。

青少年問題については昨年は非行多発第三のピークといわれ、殆んど連日新聞やテレビ等のニュースで報道されていました。

更には小学生による万引などの増加、低年令化の傾向が指摘されています。これは警世家や世の指導者だけの問題ではなく、子を持つ総ての親の心を痛めている問題であり、健やかな成長は総ての親の願いであります。次代を担う青少年として誰もが期待し念願しない者はありません。

今年は国際児童年に当る年であります。そのせいでしょうか、元日以来の新聞では各紙とも、子ども青少年を中心に教育に関するものが、個人の意見、投書、調査の形で特集されていました。

その全部を紹介する事はできませんが、学校教育であれ、家庭教育であれ、いずれも現状否定的で、非常に多くの要望意見が述べられていました。

学校教育については、智育偏重、詰め込み教育入試中心への反省から「ゆとりある教育」をねらいとして、五十五年度から小中高と年を追って教育のやり方が少しずつ変ります。が入試の制度自体は決定的な改善案には程遠い感がいたします。

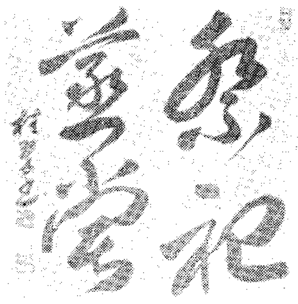
家庭教育へは「しつけ」の重視、「過保護」の反省が最も強く、幼児からの厳しいしつけが必要であり、我慢、耐性が求められています。

それには、子どもが安定できる温い家庭と共にともすれば正面から逃げがちだった父親の役目厳しい父性の必要が強調されています。それぞれうなずかれる事でありますがさて、うちではと思うと親として又迷い悩みも多いことであります。

しかし子どもは親の後姿を見て育つとか、子どもは親の鏡・社会の鏡とも云われます。とするならば今年の国際児童年を大人の国際年・両親年と置きかえて、大人も問いなおしてもよい気がいたします。ともども勉強してまいりたいと思います

あけましておめでとうございます

町長　五十嵐重雄
助役　纐田奈賀雄
収入役　上田友男
町議会議長　佐藤太加志
〃副議長　中野一雄
他、町議会議員一同
教育委員長　岡田六衛
委員　川瀬弘一
〃　保科栄
〃　笠原省二
教育長　今井一夫
社教委員長　楠原真次
中学校長　中野粂男
小須戸小学校長　成田常信
矢代田小〃　椿克巳
消防団長　高野嘉一
警察署長　今成稔
小須戸郵便局長　山口敬一
矢代田〃　保科栄
電報電話局長　星一男
矢代田駅長　浜本七司
農協組合長　岡田六衛
商工会会長職務代理　山本年雄
連合老人会長　白井門蔵
〃婦人会長　松沢キヨ
〃PTA会長　保科清一郎
青連協会長　五十嵐芳昭
勤協会長　河内与己司
体育協会長　渡辺欣二
文化協会長　間野良知
東京小須戸会長　長谷川邦芳
特別会員衆議院議員　米田東吾
新潟小須会長　加藤大輔
中央公民館長　間野良知
〃副館長　木村敬三郎
〃副館長　森田登
小須戸分館長　佐藤正雄
矢代田〃　松尾健一
新保〃　川瀬弘一
横水〃　木村敬三郎
他本館分館役職員一同
（順不同）



元旦試筆

木村桂翠
（中央公民館副館長）

高校設置のお礼言上

連合婦人会県知事を訪問

小須戸町に県立高校の設置が決定したことは全町民の等しく歓喜しているところであります。

町連合婦人会では、かねてこのことについて君県知事をお訪ねし、直接お礼を申し上げると共に県庁内を見学したいとの希望をもっておったのでありますが、幸い五十嵐町長の斡旋によって去る十二月二十二日これが実現いたしました。

当日参加者役員二十名に特に町長も同行され、午前十一時四十五分知事室に招ぜられました。

松沢会長のお礼言上に対し知事からは、「これも町長さんはじめ地元の皆さんの熱意によるものです。今後も宜しくお願いしますよ」とのあたたかいお言葉がありました。

午後は折から開会中の県議会一般質問を約一時間傍聴して、これ又実のある社会学習をいたしました。

町民を代表した形の民間側からのお礼の訪問、本当にご苦労様でした。

俳句教室開催のご案内

――初心者講習――

左記の要項により、初心者向けの俳句教室を開催いたします。多数ご参加下さい。

＜要　項＞
日時＝二月～三月の間毎週木曜日午後七時三十分～九時三十分
会場＝中央公民館
受講料＝五〇〇円
指導＝小須戸町俳句同好会々員
主催＝中央公民館
その他＝詳細についての問い合せ、受講申込みとも中央公民館事務局へどうぞ。

二百名が走りぞめ
町民体力づくりスタート!!
～第七回元旦マラソン大会～

恒例の元旦マラソン大会は、年々参加者が増え盛大になっているが、今年も昨年を上まわり二百名が参加して全員無事に完走した。

主催の教育委員会と体育協会では、毎年〝町民体力づくり運動〟の成果をこの元旦マラソン大会でうらなっており、今年も各種スポーツ大会等における大きな成果を期待できるものと喜んでいる。

しかし、参加者の過半数が小学生で、一般の参加者がいま一つ延び悩んでいるため、今後の課題として残りそうである。

それでもスポーツ教室等への一般参加が増えていることから、関係者は明るい見通しをもっている。

ともあれ、天候にも恵まれ、大成功のうちに終了した第七回大会であった。

がんばった元旦マラソン

古田崇子

「ヨーイ、ドン!」と町長さんのピストルの合図で、元旦マラソンが開始されました。

遅くても良いから、無理をしないで最後迄ついていくことを目標に、親子で足ならしをしてみました。幸い雪のない冬で走りやすかったのですが小一の長女のペースに合わせても、中年肥りの身には相当こたえました。

さて、いよいよ元日。昨日迄は、参加しようかな等と言っていた主人はお屠蘇の量が多すぎてかあっけなく不参加宣言。こうなっては、いやがおうでも私は、がんばらざるを得なくなりました。

会場につくと、知っている方も大勢おられましたが、皆新しい年の希望に燃え、はりきっておられました。

私と小三の息子と小一の娘は第二グループに参加しました。元旦だもの、応援する人もおられないだろうと思っておりましたら、思いのほか大勢の声援があり、恥かしそうに走る娘と私。

のんきな娘はあくまでものんびりと、右を見、左を見て「お母さん、のう協は今日は休みだね。」とか「あっサンゴマートだ。私も来たことあるよ。」とか「おまわりさんが交通整理をしているよ。」とかいった調子でした。その内に「お母さん手をつなごう。」と来た。「よしよし、がんばっていこうよ。」と励ましながら、はるか前方に早い集団を見て、娘と私はかけ足をしていきました。目標をどうにか達成しての帰り路「お母さん、来年も走ろうという子どもの声がさわやかに耳に響きました。

小須戸小学校が
学校給食優秀校に輝やく!!
～県教育委員会表彰受ける～

小須戸小学校職員一同は常に「子どもの喜ぶ充実した学校給食の実現」ということを心に念じながら、毎日給食指導に当っています。

こんな願いを全面的に受け入れて、充実した献立内容と、優秀な調理技能と細心の食品衛生管理など、完ぺきにとりしきる給食センターの活躍に職員一同、心からの信頼感を持っております。

ご誠意あるの給食センターに応えるべく、職員児童共々に、楽しい給食の実現に向けて、創意工夫しながら実践にとりくんでおります。

こうした給食センターと学校との協力体制が、表彰をいただくゆえんとなったものと思います。

（小須戸小学校　呉井）

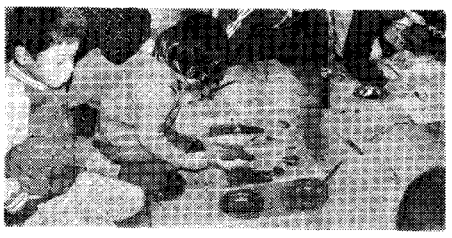
親子で手作りのタコを楽しむ
親子工作教室

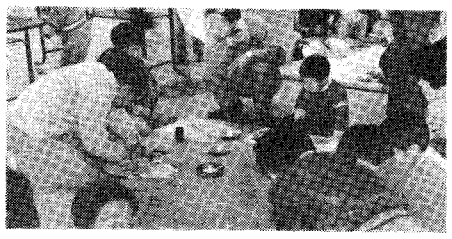
去る十二月二十四日、中央公民館において親子工作教室を開催。

現代っ子に手作りの楽しさを味わってもらおうと今までにもいろいろな工作を行ってきたが、今回のタコ作りには親子合わせて百余名が参加し、三階の大ホール狭しと大ハッスル。

親子でがんばる光景はなんとも心温まるふんいきでした。

お手伝いの青年学級の皆さん、ご苦労さま。





冬休み読書感想文
赤げのアンをよんで

小須戸小一年一組　わたなべみほ

赤げのアンはみなしごのおんなの子でした。

アンは小さいときに、おとうさんとおかあさんが、ねつびょうでなくなりました。

そして、しんせきのいえになんどもあずけられて、十さいのとき、こじいんへあずけられました。

それからアボンリーという小さなむらのグリーン・ゲイブルスとよばれるいえに、もらわれていきました。

そこには、六十さいのマシュウさんと五十すぎのマリラさんと、二人ですんでいるいえです。

アンがはじめてもらわれていったときに、マリラさんが「わたしはおとこの子をたのんであったはずよ」といわれたのをきいておんなの子のアンはぼろぼろなみだをこぼしてなき出しました。

わたしだってもしも、もらわれていったときに「おんなの子はいらないよ」といわれたら、かなしくなるとおもいます。

でもわたしには、おとうさんも、おかあさんもいます。

アンはマシュウさんとマリラさんに、学校へやってもらえることになりうれしくてまい日やすまず学校へかよいました。

まい日うちへかえるとその日のことをたくさんマシュウさんとマリラさんにはなしました。

ある日、学校でいじわるなおとこの子に「にんじん、こらにんじん」といわれてアンはかっとなって「よくもばかにしたわね」というともっていたせきばんを、いたずらっこのおとこの子にぶっつけました。

わたしだってじぶんのいやなことを、いわれたことがあります。

そのときとってもくやしかったです。

あるとき赤げのアンはものうりの人からそめこをかってじぶんのかみのけを、くろくそめようとおもってそめこをぬりました。

そしたらアンのかみのけはみどりいろにそまりました。

アンは毎日かみのけをあらってばかりいたけれど、そまったいろはおちません。

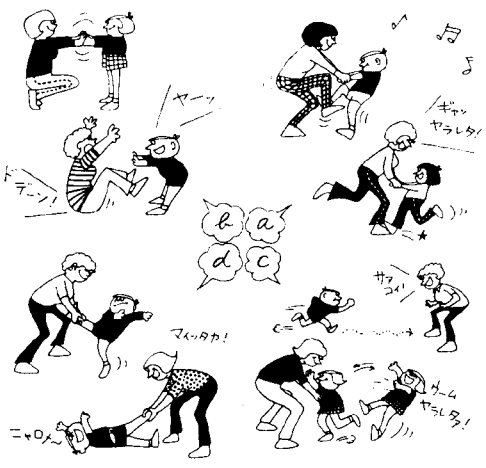
アンは「わたしには赤げが一ばんにあう」とわかったのです。

わたしのかみのけはくろいけれど、アンは赤いけが、一ばんにあうとおもいました。

【評】

アンの行動を自分の立場におきかえて、物事を考えているところなど、とてもしっかりした文で感心しました。

みほさん、これからももっとたくさん本をよんで下さいね。



明るい小須戸町は
まず健康から
～町民体力づくりキャンペーン(八)～

◎ママに負けるな!
――子どもを守る体力づくり――

(A)足踏み
親子で向い合って手を握り、音楽にあわせて相手の足の甲をさっと軽く踏みます。

(B)プッシング
向かい合って立ち、親はしゃがんだ姿勢で互いに手の平を向けて、すきがあればぽんとついて相手のバランスを崩します

(C)ぶつかりげいこ
親が両手を上げてかまえたところへ、子どもがぶつかっていき、いったん受けとめてから、安全度を確かめながらつき離し、いつも少しよろける程度にしてやります。

(D)けんけん崩し
親は子どもの一方の足首をつかみ、子どもは片足立ちになります。
親が足をもって移動するたびに、子どもはけんけんしながらバランスを保ちますが、足を押していくと、子どもはバランスを崩してひっくり返ります。なるべくがんばらせるように、かけ声をかけてやりましょう。

アマチュア無線講習会のご案内
～国家試験は四月～

次の要項によりアマチュア無線国家試験のための講習会を行います。ご希望の方は中央公民館内事務局へどうぞ。

日時＝二月～四月までの毎週火曜日午後七時より九時まで。
会場＝中央公民館
（小須戸町無線クラブ）

新春レコードコンサート
（ご　案　内）
（ビッグバンド・ジャズ特集）

日時＝1月27日（土）午後7時～9時30分
会場＝中央公民館2階視聴覚室
主催＝オーデイオと音楽を楽しむ会

こどもクイズ
さあ!考えて?

つぎの問題の□の中に答えを書いて公民館へ。答え・住所・氏名・学年クラスをハッキリ書いてハガキで送って下さい。正解者の中から五名の方に賞品をお贈りします。

一問　二月三日は節□、二月四日は立□です

二問　冬型の気圧配置は西高東□です。

三問　一月は睦月（むつき）で二月は□月。

前の正解は

一問　睦月　二問　八

三問　みそか

抽選の結果、次の方々へ賞品をお贈りしました。

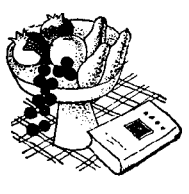
矢代田　田沢　隼二年
天ヶ沢　横山　和文三年
本町四　矢部　聰四年
矢代田　田沢小百合五年
新栄町二南波美由紀〃

スキー教室のご案内
～初心者もお気軽にどうぞ～

日時＝二月十八～十九日
場所＝須原スキー場
※詳細、申込は公民館へ

費用＝約六〇〇〇円
定員＝三十名
（定員になり次第〆切）
申込〆切＝二月十日まで
交通＝マイクロバス使用
◎貸スキー、スキー学校もあります。
主催＝中央公民館

図書案内



◇喜望峰　谷　恒生
◇隠密返上　山手樹一郎
◇犯罪展示会　日本推理作家協会
◇贅沢な被葬者　黒岩　重吾
◇緊急着陸　福本　和也
◇姉小路卿暗殺　多岐川　恭
◇凶銃ルーガー08　大藪　春彦
◇天下の勝負　柴田錬三郎
◇ふり向くな　笹沢　左保
◇傷痕の街　生島　治郎
◇神は裁かない　清水　一行
◇わが魂久遠の隅に　西村　寿行
◇四角な船　井上　靖
◇きみが心は　富島　健夫
◇この花の影　吉田　とし
◇赤鼻のキリスト　佐藤　愛子
◇公僕野郎　中村　豊秀
◇正倉院の矢　赤江　瀑
◇孔雀茶屋心中　杉本　苑子

十二月句会報
小須戸町俳句同好会

萬円の月が師走の屋根の上　静花
よくもまあ塵埃の山なす街師走　可津朋
新校舎工事中途に年暮るる　冨沙子
雪荒をもて来る陶器屋出張す　四山
隣りにも槌の音して冬囲い　紀男
山の温泉の十戸に充たず柿垂るゝ　石秋
千大根しなびて縄のゆるみけり　秀穂
夜の疾風銀杏落葉を雁木まで　松山
月へ伸ばす枝尖がらせて冬木立　芳人
新しきハウス緊張冬の雷　虚秋
庭焚火燃えつきるまで話し込む　良遊
水くれて鉢木の霜を落しけり　香月
雨止るまで待つ木下枇杷の花　林哉
神苑の落葉掃き取り神迎ふ　嵐北

初詣で

我妻清作

歳旦の光り穏しく透きとほる諏訪の社にうから額衝く

婦人バレーボール大会開催＝2月25日（日）於 町民体育館　（申込みは教育委員会へ）